

令和 5 年度

浜松市三大地財産区特別会計
歳入歳出決算審査意見書

浜 松 市 監 査 委 員

浜 監 第 87-1 号

令和 6 年 10 月 7 日

浜松市長 中 野 祐 介 様

浜松市監査委員 川 嶋 朗 夫

浜松市監査委員 佐 藤 雅 秀

浜松市監査委員 渥 美 誠

浜松市監査委員 齊 藤 晴 明

決算の審査意見の提出について

地方自治法第 233 条第 2 項の規定により令和 5 年度三大地財産区特別会計歳入歳出決算及び証書類その他政令で定める書類を審査したので、次のとおり意見を提出します。

目 次

令和5年度 浜松市三大地財産区特別会計歳入歳出決算の審査意見	5
第1 審査の基準	5
第2 審査の対象	5
第3 審査の期間	5
第4 審査の着眼点及び実施内容	5
第5 審査の結果	5
第6 決算状況	6
1 決算収支	6
2 決算の計数	6
3 歳入	6
4 歳出	7
第7 財産管理の状況	7
1 公有財産	7
2 基金	7

凡 例

本文及び表中の金額等の記述は、次の要領による。

- 1 本文及び表中に用いた年度は、審査意見を除き、原則として元号を省略した。
- 2 本文中に用いた金額は、原則として万円未満を切り捨てて表示した。
- 3 本文及び表中に用いた比率は百分率で、原則として、小数点第2位を四捨五入して表示した。
- 4 表中に用いた金額は、原則として千円未満を切り捨てて表示した。したがって、合計と内訳の計が一致しない場合がある。
- 5 各表の資料は、特別会計決算書又は関係部局からの提出物を基に作成した。

令和5年度 浜松市三大地財産区特別会計歳入歳出決算の審査意見

第1 審査の基準

この審査は、浜松市監査基準(令和2年浜松市監査委員告示第2号)に準拠して実施した。

第2 審査の対象

令和5年度浜松市三大地財産区特別会計歳入歳出決算

上記決算に関する証書類、歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書

第3 審査の期間

令和6年7月1日から同年8月19日まで

第4 審査の着眼点及び実施内容

主に以下の点を着眼点とし、検証した。

- ・ 審査に付された決算書その他関係書類が適正に作成されているか
- ・ 決算書類に記載された計数は正確であるか
- ・ 歳入歳出予算は適正に執行されているか

審査手続については、試査を基礎として行い、会計管理者が所管する諸帳簿と照合し、計数の確認のほか、関係職員から説明を聴取し、予算の執行状況等について審査を行った。

第5 審査の結果

上記のとおり審査した限り、重要な点において、決算その他関係書類が法令に適合し、かつ正確であることが認められた。

また、歳入歳出予算の執行はおおむね適正であると認められた。

第6 決算状況

1 決算収支

決算収支状況

(単位 金額：千円、比率：%)

区 分	5 年度	4 年度	増 減 額	対前年度比
歳 入 決 算 額 (A)	11,812	14,057	△ 2,244	84.0
歳 出 決 算 額 (B)	10,932	9,885	1,046	110.6
歳 入 歳 出 差 引 額 (A)-(B) (C)	880	4,171	△ 3,291	21.1
翌年度へ繰り越す べき財源 (D)	0	0	0	—
実 質 収 支 (C)-(D) (E)	880	4,171	△ 3,291	21.1
前年度実質収支 (F)	4,171	6,457	△ 2,285	64.6
単 年 度 収 支 (E)-(F)	△ 3,291	△ 2,285	△ 1,006	144.0

歳入決算額は1,181万円、歳出決算額は1,093万円となっている。実質収支は、88万円の黒字で、4年度に比べて、329万円(78.9%)減少した。また、単年度収支は、329万円の赤字である。

2 決算の計数

令和6年5月31日(出納閉鎖日)現在における歳計現金の在 high は普通預金 88 万円で、5年度の歳入歳出差引額と合致する。

3 歳入

歳入の科目別内訳

(単位 金額：千円、比率：%)

区 分	5 年度	4 年度	増 減 額	対前年度比
財 産 収 入	7,640	7,599	40	100.5
財 産 運 用 収 入	7,640	7,599	40	100.5
繰 越 金	4,171	6,457	△ 2,285	64.6
合 計	11,812	14,057	△ 2,244	84.0

歳入は1,181万円で、4年度に比べて、224万円(16.0%)減少した。主として繰越金228万円の減少によるものである。

4 歳出

歳出の科目別内訳

(単位 金額：千円、比率：%)

区 分	5 年度	4 年度	増 減 額	対前年度比
議 会 費	449	118	331	380.5
議 員 報 酬	103	109	△ 6	94.5
視 察 研 修 費	334	0	334	—
議 長 交 際 費	3	1	2	300.0
一 般 諸 経 費	8	7	0	114.3
総 務 費	10,483	9,767	715	107.3
一 般 管 理 費	321	212	109	151.4
財 産 管 理 費	10,161	9,554	606	106.4
合 計	10,932	9,885	1,046	110.6

歳出は 1,093 万円で、4 年度に比べて、104 万円(10.6%)増加した。主として財産管理費 60 万円及び視察研修費 33 万円が増加したことによるものである。

第 7 財産管理の状況

財産現在高

区 分				5 年度末現在高	4 年度末現在高	増 減 高
公有財産	山 林	所 有	面 積 (㎡)	363,024.00	363,024.00	0.00
			立 木 (㎥)	729.80	710.93	18.87
基 金	現 金	積 立 基 金 (千円)		61,000	55,000	6,000

1 公有財産

山林

山林の面積は 5 年度末現在 36 万 3,024.00 ㎡で、4 年度末と同じである。立木の推定蓄積量は 5 年度末現在 729.80 ㎥で、4 年度末に比べて、18.87 ㎥増加した。これは、自然成長によるものである。

2 基金

三大地財産区基金の現金は 5 年度末現在 6,100 万円で、4 年度末に比べて、600 万円増加した。これは元金積立によるものである。